「令和８年度仙台市交通局職員採用 Instagram 運用支援業務」について、いただいたご質問に対し以下のとおり回答いたします。

1.転職者の情報について

1-1.直近３年入局者の方の主な前職、勤務地域

バス運転士については、自動車整備・販売、電気機器の販売・保守、自治体職員、営業、銀行員、溶接工、タクシードライバーなど多岐にわたります。
勤務地域は宮城県内のほか、山形県、岩手県、千葉県、神奈川県、東京都、愛知県など、県外からの入局者も一定数見られます。

高速鉄道運輸職員の前職は、駅務員、事務職、販売業、飲食業、栄養士、土木関係、営業、自治体職員など幅広い職種に及びます。
勤務地域は宮城県内に加え、青森県、秋田県、岩手県、福島県、富山県、千葉県、神奈川県、大阪府など、東北圏内外からの入局実績があります。

1-2.上記転職者の方の転職理由

本問及び 1-3 は令和４年４月１日～令和７年 11 月１日までに採用された職員を対象に行ったアンケートの結果より回答いたしますが、転職者に限らず、新卒者を含む新規採用者全体の集計結果に基づくものであることをあらかじめ申し添えます。
バス部門の採用者が本局を選んだ理由としては「社会的意義・公共性の高い仕事」、「公務員としての安定性」、「仙台市内で継続して勤務できる点」、「業務内容への関心（バス運転業務等）」、「ワークライフバランス」が多く挙げられました。
安定した雇用基盤に加え、地域に根差して公共交通を支える職務内容に魅力を感じている傾向が見られます。
鉄道部門の理由としては「業務内容への関心（地下鉄運転業務・駅務業務等）」、「公務員としての安定性」、「仙台市内で勤務できる点」が多く挙げられました。
鉄道部門では、具体的な職務内容そのものへの志向が比較的強く、安定性と専門性の双方を重視する傾向が見られます。

1-3.上記転職者の方が業務上で感じるやりがい

バス・鉄道の両部門に共通しているのは、「お客様から感謝のお言葉をいただくこと」および「公共交通を支える責任を担っているという実感」です。
バス運転士は日常的にお客様と接する機会が多く、直接的な対人場面の中で達成感や手応えを得やすい傾向があります。また、自身の運転技能の向上が安全運行に直結するため、成長を実感しやすい点も特徴です。
一方、鉄道部門では、多くの命を預かる責任ある業務に従事することへの使命感や、社会インフラを担っているという公共的意義を強く意識する職員が多く見られます。

2. Instagram 運用について

2-1.2025 年 5 月～アカウント運用されている方はどなたか（外部事業者の場合は、その旨だけ可能な範囲でご教示ください）

職員採用アカウントの運用は、総務課職員係の職員が担当しております。

2-2.現在の Instagram アカウントでストリーズやハイライトを利用されていない背景及び意図

ストーリーズやハイライトを積極的に活用していないことについて、特段の運用ルール上の制限があるものではございません。現状では、運用担当職員の知識や活用ノウハウが十分とはいえないことも一因であると認識しております。

2-3.運用支援を行う際、Instagram アカウントへの投稿はどなたが行うのか（弊社で行う場合、アカウント連携が必要になります）

Instagram アカウントへの投稿主体につきましては、仕様書に記載のとおり、コンテンツの投稿およびアカウント管理は発注者が行います。
また、本業務はアカウント運用に係る支援・助言を目的とするものであり、プロフィール作成、投稿文案、投稿タイミング、コンセプト設定等についてご提案いただく形を想定しております。
なお、仕様書に記載のとおり、本業務に係る公式 Instagram アカウントについて、発注者から受注者へ ID・パスワード等の認証情報の共有は行わないものとしております。そのため、受注者様において直接投稿を行っていただく想定ではございません。

2-3.発注者から受注者へアカウントの ID/パスワードは共有を行わないとあるが、投稿する動画/文章等を発注者へご提出し、投稿作業は発注者が行う理解でいいか？

ご認識の通りです。

3.撮影について

3-1.採用広報の目的で職員の方を 1 日最大で何時間拘束可能か（シフト業務のため、連続して同じ方に撮影を行うことがどこまで実現可能か）

バス部門・地下鉄部門とも、職員 1 人あたりの撮影協力時間はおおむね 3 時間程度を想定しております。なお、撮影時間を確保できるシフトが限られていることから、撮影可能な時間帯は限定的となり、撮影時間帯がご希望に添えない場合がございます。

4.コンテンツ企画・制作・納入について

4-1.高速鉄道運輸職員、バス運転士のショート動画本数の割合は月 2×12 ヵ月の範囲を遵守する場合は特段決まりはないものでしょうか。

ショート動画は最低 24 本（月 2 回×12 か月分）以上制作することとしておりますが、両職種間の本数割合について特段の定めは設けておりません。
一方で、仕様書に記載のとおり、バス運転士採用は通年広報、高速鉄道運輸職員採用は上半期（4 月～9 月）に重点広報を実施する方針としております。そのため、動画本数や公開時期については、受注者様からのご提案を踏まえ、発注者と協議のうえ決定することとなります。

4-2.契約期間は令和 9 年 1 月 31 日までと記載されているが、最低 24 本を令和 9 年 1 月 31 日までに投稿する実質 4 月～1 月の 9 か月間という理解でいいか？

成果物の納品は令和 9 年 1 月 31 日までとしております。納品されたコンテンツを投稿するタイミングは、令和 9 年 2 月以降も続くことを想定しておりますが、投稿タイミングは受注者様からのご提案を踏まえ、発注者と協議のうえ決定することとなります。

5.効果検証及び事業実施報告について

5-1.データをご共有いただくとあるが、いただくデータは受注者から希望をお伝えすることは可能か？

効果検証に必要なデータにつきましては、受注者様からご希望内容をお示しいただくことは可能です。その上で、発注者として提供可能な範囲においてデータを共有いたします。提供可否および提供範囲は、情報管理上の観点を踏まえた上で判断いたします。

5-2.より効果的な企画を行うに際し運用している Instagram 既存リール動画の再生数を公開いただくことは可能か？

より効果的な企画立案に資する情報として、既存の Instagram リール動画の再生数等の数値につきましても、可能な範囲で共有いたします。

6.その他について

6-1.交通局公式ロゴや関連素材、過去撮影データ（電車・バス等）企画内での使用並びにご提供いただけるものはございますでしょうか。

交通局公式ロゴや関連素材、過去撮影データ（電車・バス等）につきましては、企画内容および使用目的を確認のうえ、提供可能な範囲でご提供いたします。

6-2.不適切なコメントやネガティブな反応が発生した場合の一次対応（判断、削除、返信等）については、発注者・受注者のいずれが対応する想定でしょうか。

不適切なコメントやネガティブな反応が発生した場合の一次対応（判断、削除、返信等）につきましては、公式アカウントの管理主体が発注者であることから、発注者が対応する想定です。